

1人1台端末を活用した授業改善

中核校 浦河町立堺町小学校 指定校 浦河町立浦河小学校、浦河町立浦河第一中学校

実践前の状況

- ・教職員間で授業支援クラウドを活用した1人1台端末等の活用状況に差が見られた。
- ・1人1台端末の効果的な活用について、学校内及び町内の教職員間で理解度に差が見られた。

実践の概要

授業支援クラウドを活用した日常的な実践

- ・中核校で進めている「主体的に学びに取り組む授業」、「課題を見付け、考え抜く力による解決を図る授業」、「授業で学び合い、全員がゴールに到達する授業」を授業改善の視点とし、1人1台端末やICT機器を効果的に活用した教育の充実を目指し、実践に取り組んだ。
- ・主な活用内容として、思考ツールの活用、授業での児童同士での対話的な学習での活用等、授業の展開場面における活用を図るとともに、児童に見通しをもたせる手立てとして、単元の学習計画や単元をつらぬく課題である「パフォーマンス課題」の可視化に取り組み、単元や授業の見通しの提示に活用した。

1人1台端末等の効果的な活用に係る公開研究会及びミニ研修等の実施

- ・町内全ての小・中学校に導入されている授業支援クラウド「ロイロノート・スクール」の効果的な活用について、中核校が公開授業研究会を実施し、町全体における1人1台端末等の積極的な活用につなげるための協議を行った。
- ・中核校において、4月に授業支援クラウド「ロイロノート・スクール」の活用について教員が自発的にミニ研修を開催するとともに、校内研修等で全学年の学級担任が授業の目標や内容を吟味し、1人1台端末やICT機器を使うことが目的にならないよう、共通理解を図った。



【思考ツールを活用した授業の様子】



【対話的な学習活動における活用の様子】



【単元の見通しの可視化】

実践の充実に向けた取組の工夫

〔校長の取組〕

- ・校長が示す学級経営の重点目標を踏まえ、年度初めに、中核校が目指す授業改善の重点を研修部が提示し、1人1台端末等の積極的な活用を呼びかけるとともに、研究授業の指導案検討の際、どのように効果的に活用できるかを協議の視点として示すなど、組織的な取組を推進した。

〔専科教員の取組〕

- ・中核校及び指定校における理科の専科指導において、1人1台端末等を効果的に活用した授業を実践するとともに、理科の授業におけるICTの活用についての理科通信を町内に発信し、普及啓発をすることができた。



【専科教員が作成した理科通信】

成果（ ）と今後の課題（ ）

1人1台端末等の活用について、全教職員の意識を高め、授業改善を図ることができた。

〔学校評価（教職員）の「積極的にICT機器を効果的に活用していますか。（思考ツール、見通しの提示等）」について、肯定的な評価が増加した（R5前期85.0% R5後期95.2%）〕

保護者に対して、1人1台端末等を活用した学校の取組を積極的に情報発信する必要がある。

〔学校評価（保護者）の「ICT機器を導入して学習（家庭学習）等を行っていますか、お子さんに効果的ですか」について、肯定的な評価62.9%、わからない17.6%〕